

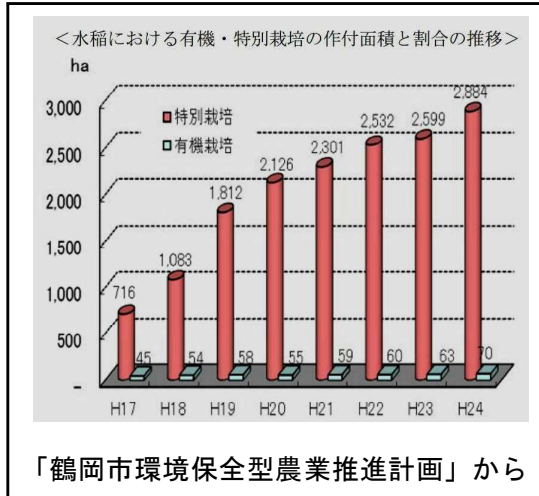
有機農業を全市的に

鶴岡市有機農業推進協議会の総会が30日、藤島エコタウンセンター四季の里」楽々で開かれました。会ではこれまで、有機農業推進法による国の推進計画で平成20年度から「モデルタウン事業」、22年度から「産地収益力向上事業」と「有機農業産地活性化総合対策事業」に取り組んできました。鶴岡市では25年度に「鶴岡市環境保全型農業推進計画」を策定し、その中で有機農業の全市的取り組みを推進していくとしています。

役員は会長に志藤正一氏、副会長に相馬一廣氏を選出しました。会では26年度、市の推進計画への提言と事業への協力を進めていくとしています。

5対5へ

市の環境保全型農業推進計画では、具体的な目標として、有機・特別栽培と慣行栽培の面積割合を現在の3対7から5対5へ



「鶴岡市環境保全型農業推進計画」から

- ① 紙マルチ雑草抑制
- ② カプトエビによる雑草抑制
- ③ マガモ除草
- ④ 畦畔シート設置によるイネミズゾウムシ対策
- ⑤ チェーン走行

25年度の有機栽培技術実証展示ほ場は、岡市平田

28年度までの3カ年事業で、今年度は5月9日に募集が締め切られています。

首都圏等で開催されるまつりやイベントでの販売、農畜産物の商談会、県や市が主催する観光・物産展などで販売活動する場合に支援するとしています。

現在、県全体では平成24年21対79の割合と

高め、平成30年までに面積の半分以上が特別栽培レベルの取り組みとなることを目指します。

技術実証展示ほ場

25年度の有機栽培技術実証展示ほ場は、岡市平田

⑥ 有機栽培枝豆

なっています。また有機性堆肥の散布面積を24年度156haから30年度180haへ、堆肥利用者数を同831人から1000人へ拡大を目指します。

しかし、堆肥散布補助金については予算要求されましたがカットされ、予算には盛り込まれませんでした。

による雑草抑制

パイロットファーム（三和）

⑥ 有機栽培枝豆

藤正一（千原）がおこなわれました。



鶴岡市有機農業推進協議会HP: <http://www.tsuruoka-yuuki.jp/>

平成26年度 鶴岡市有機農業推進協議会 事業スケジュール（案）

事業内容	実施時期 (H25実績)	備考
生き物調査	H26. 6中下旬 (H25. 6. 11~7. 2)	
実証展示ほ場設置・巡回	H26. 6中旬 (巡回: H5. 6. 14)	県有協のほ場検討会、H26は庄内会場
アジア学院研修生受入	H26. 8. 下旬 (H25. 8. 20~30)	
出前授業	H26. 11~ (H25. 12. 10・12. 12)	
やまがたオガニックフェア	H26. 11 (H5. 11. 4)	
つるおかオガニックフェア	H26. 時期未定 (H25. 9. 8)	
有機農産物マッチングフェア	H26. 11. 20~22 (H25. 10. 31~11. 2)	
米商談会	H27. 2. 22 (H26. 2. 16)	
研修会	H26. 12~ (H26. 1. 24)	
有機栽培技術の研修会、有機農業推進に関する会議等への参加派遣	随時	例: 全国合鴨フォーラム、農を変えたい東北集会、農水省・全有協主催研修会等、旅費の1/2を協議会で負担
協議会PR		コメ取扱店向け「生産者ガイド」掲載費
農機具維持管理		水田除草機
会議出席	随時	県有機農業者協議会等

旧町村へも防犯灯LED化 7月から導入調査

鶴岡市は平成25年度に旧市街地の防犯灯約6500灯を発光ダイオード(LED)へ切り替え、26年3月からリース供用を開始しました。

26年度は市街地を除く全域の防犯灯約1万1000灯についてLED化への切替を進めます。

実施スケジュール

7月から9月にかけて国庫補助による導入調査事業(現地調査)

を実施し防犯灯台帳を整備。その結果の報告と工事説明会を10月までおこない、環境省からの確認・承諾をもって工事の実施となり、11月中にリース契約の締結、11月から2月にかけて切替工事を実施し、3月からリース供用開始のスケジュールを進めます。

10年間のリース

導入するLED防犯灯は、市が町内会に代わってリース会社から

10年間のリースを受けます。

LED防犯灯は保険に加入し、自然災害などで故障した場合は保険が適用されリース会社が修繕対応します。

LED防犯灯の灯具部分にかかるリース費用については市が負担します(専用柱等は対象外)。

調査・工事とも環境省の補助採択を予定しています。

担当業者を指定

各町内会・自治会ごとに担当業者を指定し、調査から工事まで指定の電気工業者が担当します。

原則として現在町内会で契約している業者が継続で担当しますが、東北電力の内規上、工事組合の加盟業者が工

ノーベル平和賞候補に 憲法9条を保持する日本国民が

—「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

しんぶん赤旗4月26日付。「憲法9条にノーベル平和賞を」実行委員会(神奈川県)に連

事をおこなう必要があるため、担当業者が変わる場合もあります。26年度に切替をおこなう約1万1000灯のうち市直接管理は約250灯あります。

電気料

LED防犯灯の電気料金の一部は町内会への総合交付金の中で市が補助します。

東北電力の公衆街路灯Aの電気料金は23年10月3日現在で10ワットで月額54円18銭(年額650円16銭)、10〜20ワットで月額92円61銭(年額1111円32銭)で、市の電気料金補助は年額で10ワットで500円、20ワットで1100円です。

LED化で全市の防犯灯約1万8千灯の電気料金は年間約6000万円から約3000万円に半減し、二酸化炭素は64%削減できるとしています。

「受賞したら誰が出席するか」などの質問が強烈だったという。

たしかに憲法は受賞対象にならない。みんなで考え、70年近く保持してきた「日本国民」を受賞者としたのである。また、候補になるには国会議員・学者など推薦資格のある人の推薦文が必要だが、予想以上に多く集まり中にはこんな思いを寄せた方も。「憲法は国家がしてはいけないことを書いた制限規範です。



名張毒ぶどう酒事件の映画鑑賞

ヨソでヤツテイルからと要望されていた老人クラブの映画鑑賞を実施した。死刑囚が解放された袴田事件が冤罪として注目されていたそんな時、まちキネで名張毒ぶどう酒事件の映画があったのだ。

▼福祉バスが空いている日曜日を選んだら種播きと一緒にだったが、それでも大勢から参加してもらった。

▼映画は、生活改善クラブの懇親会でぶどう酒を飲んだ女性5人が亡くなった事件で、奥西勝さんが犯人として起訴されたもの。

▼関係者の当日の証言が、警察の筋立てに整理された当初の証言と変わっているし、毒を入れるために蓋を歯でコジアケタとされる歯形が一致しないこと、ぶどう酒は赤だったか白だったかは分からず、

9条は、国家は国民、個人に対し『死』を強制してはならないという規範です。戦前・戦中の『特高』や『玉碎』。戦争がどんな悲惨なことを味あわせたか。9条がゆらいでいるときこそ、安倍首相らに突きつけたい」

シンガー・ソングライターの沢知恵さんは「なんてユーモアがあつて素敵なセンス」と憲法9条をノーベル平和賞に推す神戸の会」に入会されたという。

問題の毒はニツカリンという農薬だという自白が別の毒物と判明し、7回も再審を請求してきたが自白があるからと判決は変わらない。

▼しかし、毒物を入れた空ビン捨てたとする川からは、破片すら出ていないのだ。このように証拠に基づかない逮捕や密室での自白強要は、私達には関係ないと言い切れません。

▼だから、任意同行には応ずるな、もし警察に行っても弁護士が来るまでは名前も言つな、この映画のように裏づけは全部ツブされてしまふからナとの事。

▼私がこの状況に追い込まれたらどうなるか、そういう気持ちで演じたと仲代達矢さん。

▼取り調べの可視化が叫ばれて久しいが、30日法務省の試案として録音・録画が義務づけられる方向だという。早期実施を期待したいものだ。(石川)

しんぶん赤旗

ノーベル賞候補に

日本国民 推薦 アジア注目

「アースデイ東京2014」でアピールする「憲法9条を保持する日本国民」実行委員会の人々(左から3人は推薦委員)

「ノーベル平和賞」候補に推薦された日本国民の代表として、4月26日、東京・代々木公園で「アースデイ東京2014」が開催された。実行委員会のメンバーが、憲法9条の保持を訴え、ノーベル平和賞の推薦を受けることを目指している。推薦委員の代表として、石垣さん、鷹巣さん、同委員会の代表の石垣さんは、香港テレビの「この運動をなぜおこなったのか」

しんぶん赤旗 4月26日付